

令和4年度 シラバス

国語 科目(国語表現)

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年A～F組
教科書(出版社)	「国語表現」改訂版 (大修館書店)	副教材(出版社)等	

1 学習の到達目標

- 1 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成する。
- 2 伝え合う力を高め、思考力を伸ばし、言語感覚を磨く。
- 3 進んで表現する姿勢を身につけ、社会性を高める。
- 4 社会生活に役立つ表現力、理解力と社会生活を充実させる態度を身に付ける。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
1 学 期	4	1、書いて伝える	レッスン1 ・整った文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を書いて何かを伝えるとき、正確にわかりやすく伝えるための留意点を考えながら、書き方の基本を身につける。 ・表記・敬語・句読点の打ち方などを例題を通して学び、文章の基本である「文」を整ったわかりやすいものにする方法を身につける。 ・文と文の適切なつなぎ方に着目し、文章を構成する力を身につける。 ・自分の意見を理由・根拠に基づいて論理的に書き、読み手を納得させるのが「論文」として理解する。 ・課題が求めるものを的確に理解したうえで、主題を構築し、論理的に表現するためのメモ・構想ノートを作成して執筆できるようにする。 ・対立する立場の意見を想定することで、より説得力のある構成を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作文評価 ・相互評価
	5		レッスン2 ・わかりやすい文を書く		
	6		レッスン3 ・文のつなぎ方		
	7	6 2、小論文・レポート入門	レッスン1 ・小論文とは何か	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文の「核」となるアイデアをどのように生み出し、肉付けしていくか、その発想法を身につける。 ・レポート作成の手順を総括しながら、小論文試験への対策を実践的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文評価 ・相互評価
			レッスン2 ・反論を想定して書く		
			レッスン3 ・資料を読み取って書く		
レッスン4 ・発想を広げて書く					
2 学 期	9 10 11	3、自己PRと面接	レッスン5 ・レポートを書く	<ul style="list-style-type: none"> ・自己分析を行い、自己演出を意識して面接という場面における表現のあり方について理解を深める。 ・自分の魅力や特長をわかりやすく印象的に伝えるための、効果的なコミュニケーション技能に習熟する。 ・将来的に自分が就きたい職業について調べるとともに、それを踏まえた上で将来の自分のあるべき姿について考えを深める。 ・自己分析と、自分が受けようとする学校や企業について調べたことを踏まえて、具体的で説得力のある志望動機をまとめる。 ・面接における必要な心構えと技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会および報告会での状況 ・作文評価 ・ワークシート評価 ・作文評価
			レッスン1 ・自分を見つめて		
			レッスン2 ・効果的な自己PR		
			レッスン3 ・将来の自分を考えよう		
			レッスン4 ・志望動機をまとめよう		
			レッスン5 ・面接にチャレン		

期	12	6、会話・議論・発表	ジ レッスン1 ・相手や場面に合った会話 レッスン2 ・議論して結論を出す レッスン3 ・プレゼンテーションの工夫	・場面の違いによって会話という同じ方法でもかなり違ったものになる経験を発表して、場面による会話と特に公的・正式な場面における会話の在り方を身につける。 ・意思決定・合意形成とはどのようなものなのかを実感的に認識する。 ・効果的なグループ・プレゼンテーションを実践し、工夫することによって意見の提示方法に習熟する。	・実技評価 ・発表会評価
	3 学 期	1 4、メディアを駆使する	レッスン1 ・通信文を書き分ける レッスン2 ・電話を使いこなす レッスン3 ・ネット社会とコミュニケーション レッスン4 ・メディアと情報	・手紙、電話といった、社会人として欠かせないメディアを、目的・内容・相手に応じた方法で使いこなすことに実践的に習熟する。 ・高度に発達した情報化社会の中にあつて、必要な情報を収集・整理し、自分の意見をまとめ、それを正確に伝える能力を身につける。	・相互評価 ・発表評価

3 評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・国語に対する関心を深め、国語を尊重しその向上に努めているか。 ・自ら進んで表現し、伝え合おうとしているか。 ・課題に意欲的に取り組み、日常の言語活動に生かそうとしているか。
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを持ち、論理的に意見を述べているか。 ・話すことに役立つ情報の収集、整理に努めているか。 ・話すことに役立つ表現技巧や語句や語彙を吟味し、活用しているか。 ・目的や場に応じて、言葉遣いなどの表現を工夫して話しているか。 ・相手の考えや立場を尊重し聞くことができるか。
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことに役立つ情報の収集、整理に努めているか。 ・収集、整理した情報を正確かつ簡潔に伝える文章にまとめられるか。 ・目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して書いているか。 ・書くことに役立つ表現技巧や語句や語彙を吟味しているか。 ・様々な表現効果について吟味したことを、自分の表現や推敲に役立てているか。
読む能力	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の動きや様々な情報について理解を深めているか。 ・国語の表現の特色について理解を深めているか。 ・語句や語彙の成り立ちについて理解を深めているか。 ・現代社会における言語の在り方や言語表現の役割などについて理解を深めているか。

4 評価の方法

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「知識・理解」の4観点から評価の観点に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

・様々な表現活動をとおして、国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めます。皆さんの主体的かつ積極的な学習への取り組みを期待します。
 ・国語の表現の特色、語句や語彙について繰り返し学習し、日常生活に活用できるようにしましょう。
 ・1年間の学習をとおして、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現する姿勢を身に付け、社会生活に活用できるようにします。